

(件名) 岩盤力学委員会 企画小委員会 (第9回)

日 時： 平成 2004 年 11 月 4 日 (火) 13:00~15:00

場 所： 土木会館 B 会議室

出席者： (委員) 青木, 大津, 川崎, 武内, 高橋

議 題： 1) ニュースレターNo.6 の編集, No.7 の打合せ

2) Rock Net ホームページについて

3) 継続教育実施連絡会の依頼事項について

3-1) JST 向け Web 教材作成への応募

3-2) 継続教育に関する普及活動の取り組み

活動状況：

- 1) ニュースレターNo.6 (12 月初旬に発信予定) のドラフト版をもとに, 修正・追加等について議論した。主な決定事項は以下の通り。
 - ・ トピックスは「インド・プルリア揚水式発電所建設事業の概要紹介」(大成建設) と「第 3 回 東南アジア岩盤工学ジョイントワークショップを開催して」(大津委員) の 2 件を掲載する。
 - ・ 「書籍等の紹介」のうち「岩盤浸透関係の教科書紹介」については次回の掲載とする。
 - ・ 「会議予定」には国際トンネル協会 (ITA) 主催の会議 (総会) を追加する。
 - ・ No.7 の「巻頭言」は太田委員に依頼する。
 - ・ No.7 の「法人会員のページ」は大成建設に依頼する。
- 2) 岩の力学連合会 RockNet HP について青木委員から説明がなされるとともに, その中で RockNet HP での 4 団体の位置づけを紹介するページである “Rock Net Home” の土木学会分に関し議論した。主なコメントは以下のとおり。
 - ・ 「岩盤力学に関するシンポジウム」の年次開催と企画運営を行っている旨, 追記する。
 - ・ 岩盤力学委員会のホームページには, 各研究小委員会の活動状況と修了した研究小委員会の活動成果 (報告書, CD-ROM 等) が紹介されている旨を追記する。
- 3) 継続教育実施連絡会の依頼事項である①JST 向け Web 教材作成への応募, ②継続教育 (CPD) に関する普及活動の取り組みの 2 点について武内委員から背景が説明され, 議論の結果以下のように対応することとなった。
 - ・ JST 向け Web 教材作成に対しては, 委員会活動の活発度を示す上での重要性を考慮し, 「高レベル放射性廃棄物の地層処分」をテーマとして高橋幹事が説明書 (案) を作成し, 応募することについて運営小委員会に諮る。
 - ・ 継続教育 (CPD) に関する普及活動としては, ①岩盤力学委員会委員への依頼文 (例えば, 岩盤力学委員会主催, 共催の行事については可能な範囲で継続教育の取得対象とし, 会員に対しても積極的な取得を呼びかける等のお願い) の案を武内委員が作成し, 委員へ連絡する。②来年の「岩盤力学に関するシンポジウム」でも CPD 取得を呼びかける等の対応策が挙げられた。
- 4) 次回の企画小委員会では, 来年度の新規研究小委員会の応募に対する審議を行い, 1/7 の運営小委員会にその結果を付議する必要がある。そのため, 各委員の予定を考慮し以下の日時 (場所) で開催する。
 - ・ 2005 年 1 月 5 日 (水) 13:00~15:00 (京都大学)

以上